



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社 理経

上場取引所 東

コード番号 8226 URL <http://www.rieki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青柳 勝栄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 長谷川 章詞

TEL 03-3345-2153

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,139	△14.9	84	—	73	—	54	—
23年3月期第2四半期	4,862	10.9	△188	—	△198	—	△233	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 32百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △273百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3.60	—
23年3月期第2四半期	△15.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,972	3,777	3,777	3,745	54.2
23年3月期	6,828	3,745	3,745	—	54.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,777百万円 23年3月期 3,745百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
平成24年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	11.2	200	—	160	—	140	—	9.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	15,514,721 株	23年3月期	15,514,721 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	388,990 株	23年3月期	388,766 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	15,125,731 株	23年3月期2Q	15,127,302 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成24年3月期の期末配当予想につきましては、今後の業績動向が不透明であることから、現時点では不明です。予想額の開示は可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害をはじめ、福島原子力発電所の事故及びこれに続く節電対策等により、企業活動に著しい影響を与えるとともに、円高の進行や個人消費の低迷など厳しい環境の中、全般的に低調に推移しました。

当社グループにおきましては、今回の震災により被災された顧客もあり、受注が遅れる、もしくは納期が遅延するなど一部営業活動に支障をきたす事象も発生致しました。

そのような環境下、当社グループは、業績回復を最優先課題として掲げ、高収益案件の受注及び新規顧客案件の増加に日々努めるとともに、システムソリューション事業の強化、映像配信・ストリーミング技術の拡充、クラウドサービスへの参入、高機能部品の開発及び特殊部材の販売強化、人材のグローバル化とマネジメント力の強化等の戦略に基づき、経営資源を集中した事業運営に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は41億3千9百万円（前年同期比 14.9%減）となりました。損益面につきましては、営業利益8千4百万円（前年同期間は1億8千8百万円の営業損失）、経常利益7千3百万円（前年同期間は1億9千8百万円の経常損失）となり、特別損失として退職給付制度終了損1千4百万円を計上した結果、四半期純利益5千4百万円（前年同期間は2億3千3百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、大学官公庁向けシステムが減少し、売上高は14億3千7百万円（前年同期比 19.6%減）、営業損失は3千3百万円（前年同期間は1億2千3百万円の営業損失）となりました。

ネットワークソリューションにおきましては、映像配信システムが好調に推移し、売上高は9億3千万円（前年同期比 78.6%増）、営業利益は9千8百万円（前年同期間は5千万円の営業損失）となりました。

また、電子部品及び機器におきましては、携帯端末用液晶ドライバIC及び海外における電子部品販売が減少し、売上高は17億7千1百万円（前年同期比 30.6%減）となりましたが、高収益案件の受注に努めた結果、営業利益は1千9百万円（前年同期間は1千4百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント間取引については、相殺消去しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は69億7千2百万円（前連結会計年度末比1億4千3百万円増加）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が5億2千2百万円増加し、現金及び預金が4億1千4百万円減少したことによります。

負債の合計は31億9千4百万円（前連結会計年度末比1億1千1百万円増加）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6千9百万円増加したことによります。

純資産の合計は37億7千7百万円（前連結会計年度末比3千2百万円増加）となりました。これは主に5千4百万円の四半期純利益の計上によります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より4億1千4百万円減少して、21億5千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において4億3千5百万円の減少（前年同四半期は4億3千3百万円の減少）となりました。これは、主に売上債権の増加によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において7千8百万円の増加（前年同四半期は1億1千8百万円の増加）となりました。これは、主に差入保証金の回収によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において5千万円の減少（前年同四半期は1億円の減少）となりました。これは、主に短期借入金の返済によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(退職給付制度間の移行等に関する会計処理の適用)

当社は、平成23年7月1日より現行の適格年金制度を廃止し、確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行することにより、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用し、確定拠出年金制度等への移行部分については退職給付制度の一部の終了の処理を行っております。

本制度移行に伴う影響額は、特別損失として1千4百万円計上しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは前連結会計年度において売上高87億8千4百万円、営業損失1億7千1百万円、経常損失2億1千4百万円、当期純損失2億5千9百万円を計上し、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

しかし、当社グループの自己資本比率は54.2%であり、今後の運転資金については十分な資金を確保しております。

当社グループの運転資金需要のうち主なものは、商品の購買及び人件費、賃借料等によるものです。人件費、賃借料等につきましては、前連結会計年度において1億3千4百万円の削減を行い、当第2四半期累計期間におきましても引き続き削減努力を推進した結果、前年同期比では、1億5千7百万円減少しております。また、商品の購買に関しては、粗利益の高い取引に注力し、収益力の回復に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期累計期間においては、営業利益8千4百万円、経常利益7千3百万円、四半期純利益を5千4百万円計上しております。

従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められませんので、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,066,130	2,651,990
受取手形及び売掛金	1,656,920	2,179,383
商品及び製品	190,666	338,338
未収入金	788,266	770,838
その他	468,613	460,515
貸倒引当金	△535,440	△537,002
流動資産合計	5,635,158	5,864,063
固定資産		
有形固定資産	456,239	470,401
無形固定資産	5,696	6,972
投資その他の資産	731,450	630,740
固定資産合計	1,193,387	1,108,115
資産合計	6,828,545	6,972,178
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,462,689	1,532,126
短期借入金	750,000	700,000
未払法人税等	16,333	11,505
その他	384,603	485,770
流動負債合計	2,613,626	2,729,403
固定負債		
退職給付引当金	297,135	201,751
その他	172,618	263,650
固定負債合計	469,754	465,401
負債合計	3,083,381	3,194,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	850,663	615,043
利益剰余金	△294,653	△4,568
自己株式	△111,324	△111,359
株主資本合計	3,871,601	3,926,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,326	△5,421
繰延ヘッジ損益	△2,225	△1,274
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	△113,924	△130,348
その他の包括利益累計額合計	△126,436	△148,658
純資産合計	3,745,164	3,777,374
負債純資産合計	6,828,545	6,972,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,862,208	4,139,926
売上原価	3,954,144	3,116,208
売上総利益	908,063	1,023,717
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	527,850	461,349
退職給付費用	28,563	29,205
役員退職慰労引当金繰入額	4,575	—
貸倒引当金繰入額	—	47
その他	535,483	448,559
販売費及び一般管理費合計	1,096,472	939,162
営業利益又は営業損失(△)	△188,409	84,554
営業外収益		
受取配当金	704	777
受取賃貸料	1,179	933
その他	5,007	1,746
営業外収益合計	6,891	3,457
営業外費用		
支払利息	10,629	7,231
為替差損	3,681	4,448
その他	2,256	2,523
営業外費用合計	16,567	14,203
経常利益又は経常損失(△)	△198,085	73,809
特別利益		
固定資産売却益	206	179
特別利益合計	206	179
特別損失		
固定資産除却損	146	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,224	—
退職給付制度終了損	—	14,952
特別損失合計	30,370	14,952
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△228,249	59,036
法人税、住民税及び事業税	5,000	4,570
法人税等調整額	26	—
法人税等合計	5,027	4,570
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△233,276	54,465
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△233,276	54,465

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△233,276	54,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,809	△6,747
繰延ヘッジ損益	△333	951
為替換算調整勘定	△33,634	△16,424
その他の包括利益合計	△39,778	△22,221
四半期包括利益	△273,055	32,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△273,055	32,244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△228,249	59,036
減価償却費	19,104	18,452
受取利息及び受取配当金	△1,646	△1,048
支払利息	10,629	7,231
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,224	—
退職給付制度終了損	—	14,952
売上債権の増減額(△は増加)	△594,571	△541,390
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,023	△157,611
前渡金の増減額(△は増加)	△92,530	△73,432
その他の流動資産の増減額(△は増加)	88,264	72,707
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,045	76,373
その他の流動負債の増減額(△は減少)	298,491	73,674
その他	144,806	27,886
小計	△415,547	△423,167
利息及び配当金の受取額	1,810	1,049
利息の支払額	△10,318	△7,172
法人税等の支払額	△9,823	△6,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433,878	△435,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,448	△11,494
無形固定資産の取得による支出	—	△2,050
有形固定資産の売却による収入	—	179
保険積立金の積立による支出	△2,727	△2,442
保険積立金の払戻による収入	40,321	—
差入保証金の差入による支出	△364	△1,170
差入保証金の回収による収入	2,048	111,785
定期預金の預入による支出	—	△500,000
定期預金の払戻による収入	100,000	500,000
その他	—	△16,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	118,829	78,575
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△50,000
自己株式の純増減額(△は増加)	△51	△34
配当金の支払額	△206	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,258	△50,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,862	△7,353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△425,168	△414,140
現金及び現金同等物の期首残高	2,162,792	2,566,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,737,623	2,151,990

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	1,788,477	521,324	2,552,405	4,862,208	—	4,862,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,720	40,381	187	43,288	△43,288	—
計	1,791,198	561,705	2,552,592	4,905,497	△43,288	4,862,208
セグメント損失(△)	△123,715	△50,576	△14,116	△188,409	—	△188,409

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	1,437,755	930,976	1,771,194	4,139,926	—	4,139,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,784	33,981	756	36,522	△36,522	—
計	1,439,539	964,958	1,771,950	4,176,448	△36,522	4,139,926
セグメント利益又は損失(△)	△33,398	98,155	19,798	84,554	—	84,554

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。